

スタッフ紹介



名前 東谷 太 (ひがしたに ふとし)
年齢 51歳 (2014年9月現在)
障害 頸髄損傷
役職 CIL 代表
趣味 釣り、OPフィギュア収集
特技 妄想 (笑)

19歳の時、原付バイクの事故で頸髄損傷となる。その後の長い寝たきり生活で自分の存在意義すらも見失ってしまっていた時期を過ごす。受傷後7年経過した頃、リハビリの先生の紹介で大阪頸髄損傷者連絡会（頸損連）の活動に参加するようになり、同じ障害をもつ仲間と出会う。頸損連の活動の中で知った、ピア大阪の前身である自立生活センター研究会に参加するようになり障害者の自立生活運動を知る。この時に自立生活運動の「障害者でええんや。」「障害は悪いことでもなんでもなく変わるべきは社会」という考え方に衝撃を受ける。1994年（31歳）ピア大阪のスタートと同時にスタッフとなる。この時から自立生活センターを自分の一生の仕事（活動）とすることを決意する。その後9年間、ピア大阪で活動した後、本来のあるべき自立生活センターを目指し、自立生活センター・あるるの立ち上げに関わる。2003年にあるるのスタッフとなり9年間活動する。ピア大阪～あるるで延べ18年間大阪市内で活動する中で、自分が長く育った泉州地域に障害者の自立生活運動が広まっていないことにジレンマを感じるようになる。先に地元に戻り、泉州地域での自立生活運動の第一歩を踏み出した自立生活センター・リアライズの三井君からの「泉州に帰ってきてくださいよ。」という言葉に触発され自分の中にモヤモヤとしてたものが覚醒し、泉州で自立生活センターを立ち上げることを決意する。

メッセージ

泉州地域を障害者にとって暮らしやすい街に変えるためには、やっぱりその当事者である障害者自身が立ち上がらないといけないと思います。そのことを実現し形にすることができるのが自立生活センターだと信じています。

いこらーは自分にとって最後の自立生活センターだと思うので、これまで18年間の活動を通して培ってきたものをすべて出し切って、泉州地域の自立生活運動を盛り上げていきたいと思っています。そして10年後には次の世代が泉州地域で活躍し、いこらーだけで終わるのではなく、もっともっと泉州地域に自立生活センターが立ち上がり、文字通り泉州地域に自立障害者が溢れている。という状態を作り出すことができれば間違いなく泉州は変わっていると思います。想像するだけでワクワクしますよね！！



名前 喜多田 誠子 (きただ せいこ)
年齢 26歳 (2014年9月現在)
障害 脳性マヒ
役職 CIL 事務局長・NPO 理事長
趣味 インターネット
特技 たまに「おっさん言葉」を使い周りを引かせる (笑)

プロフィール

997gの未熟児で生まれ脳性マヒになる。物心がついた頃から岸和田で生活しています。保育園、幼稚園、小中と地域の学校に通う。我が家としては何が何でも校区の普通学校へとい意向だったが強い抵抗を受ける。その後、高校・大学へと進む。

大学を決める際にも障害者であるが為に屈辱的な思いをし、また卒業時、障害者のみの就職活動サイトや面接を受けるがなかなか受からず障害者であることを改めて考えさせられる日々を過ごす。縁があって貝塚市のセンターでピア・カウンセラーとして働く。貝塚市のセンターで働き始めた頃、共通の知人を通じ泉州地域でセンターを立ち上げたいという東谷さんと知り合う。2012年2月 自立生活スタート。

メッセージ

いこらーの活動を通して、泉州地域を障害の有無に関わらず暮らしやすい地域に変えることができると思います。



名前 宮内 孝文 (みやうち たかふみ)
年齢 33 歳 (2014 年 9 月現在)
障害 なし
役職 ヘルプセンター 管理者、サービス提供責任者
趣味 園芸、アウトドアスポーツ(登山、カヌーなど)
特技 植物の音が何となくわかる

プロフィール

大学在学中に大阪市障害者スポーツセンターにて 4 年間アルバイトしたことをきっかけに、障害者、障害児と関わり自分の中にある人間観が根底から変わり、職業として関わろうと決意する。

卒業後、介護事業所に入り高齢者、障害者のヘルパーとして働き、その間、障害者カヌーにボランティアとして定期的に参加。その後、岸和田市教育委員会の肢体不自由児しいのみ学級で勤務する。

2011 年東日本大震災の被災地支援として、7、8 月にボランティアで初めて仙台の自立生活センターたすけっとさんの活動に感銘を受ける。大阪に帰り岸和田に自立生活センターが立ち上がることを聞き、見学や話し合いに参加し自立生活センターの趣旨や活動方針に賛同、転職を決意する。

メッセージ

岸和田市肢体不自由児しいのみ学級で介助員として昨年度まで勤め、新年度 4 月より自立生活センター・いこらースタッフとして迎えてもらい、現在奮闘中！今まで、しいのみ学級で関わったり、障害者カヌーで出会ったりした人たちに、地域での自立をサポートできるよう制度や介助技術をレベルアップしたい。目下の目標はいこらーのみんなで和泉葛城山に行くことです！



名前 ひらさわ まさと
平澤 政人

年齢 さい
19歳 (2014年9月現在)

役職 へる ぱー ぱい せん
ヘルパー、パイセン

趣味 げー む
ゲーム

特技 くちぶえ
口笛

好物 いっぽうてい しゅうまい
一方亭の焼売

プロフィール

せんしゅう う 生まれ、せんしゅう そだ 泉州で生まれ、泉州で育つ。そして、いこらー せつりつじ から へる ぱー として たら 働く。

そのため、みんなからは「パイセン」と呼ばれている。普段はいこらー じむしょ ぎょうむ 事務所で業務

ほじょ たんとう 補助を担当しながら しゅぎょうちゅう 修行中。そして、とくぎ こーひーづく 特技は珈琲作り。「パイセン ぱいせんこーひー じしん 焙煎珈琲(※自身

ぱいせん おこな 焙煎は行っておりません)」は絶品と事務所で だいこうひょう 大好評。また、いこらー すいいち たまご 随一の玉子

や めいじん 焼き名人。さらに わらだい だいひょう 代表までも つか おとこ わらだい わらい おお わ 務める男。「笑大(笑の大きな輪)」という

ねーみんぐ & あんどわらだいくん さくしゃ 作者でもある。ひびしんか と 日々進化を 遂げるこの おとこ こんご め はな 男から 今後も目が 離せ

ない！！

メッセージ

これからもいこらーの ぱい せん であり続けるんでよろしくう！！！！

それから、 わらだい 笑大もよろしくう~~~~！！！！！！！！



なまえ おおその たくろう
名前 大園 拓郎

ねんれい さい
年齢 37歳 (2014年9月現在)

やくしよく へる ばー
役職 ヘルパー

しゅみ はんしんたいがーす どくしょ つ
趣味 阪神タイガース 読書 釣り

プロフィール

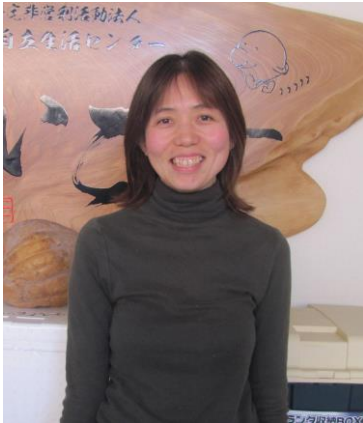
にほんふくしだいがく そつぎょうご ちてきしょうがいしゃ さぎょうじょ きんむ ごと おおさかしいくのく ちてき
日本福祉大学を卒業後、知的障害者の作業所で勤務。その後、大阪市生野区で知的
しょうがいしゃ けあほーむ すたっふ へ さーびす かんりせきにんしゃ
障害者のケアホームのスタッフを経てサービス管理責任者に。

ねん がつ たいしよく がつまつ ひがしにほん だいしんさい しょうがいしゃ しえん
2011年4月に退職し、5月末から東日本大震災における障害者支援
ほらんていあ みやぎけん はい い ごとねんさんかげつかん おも いしのまきし みなみさんりくちょう
ボランティアとして宮城県に入る。以後一年三カ月間、主に石巻市や南三陸町を
ちゅうしん しんさいほらんていあかつどう じゅうじ
中心に震災ボランティア活動に従事する。

ねん ねんまつ へる ばー かつどう はじ
2012年の年末からいこらーでヘルパーとして活動を始める。

メッセージ

う 生まれもそだ ねんまつ きしわだ こと ほとん し
産まれも育ちも岸和田。でも岸和田の事は殆ど知りません。しかしこれからは
きしわだ ふくし よ さまざま かつどう い げんき と え
岸和田の福祉をもっと良くするために様々な活動をして行きます。元気だけが取り柄
です。何でもします！！何でも食べます！！



名前 川崎 恵理子 (かわさき えりこ)

年齢 38歳 (2014年9月現在)

役職 事務 ヘルパー

趣味 公園巡り オカリナ 旅行

プロフィール

高校卒業後、ボランティア活動をきっかけに堺市の障害者のお宅に遊びがてら、ヘルパーに行く。22歳から大阪市内で一人暮らしをしながら、自立生活センター OSAKAパーティーパーティーでヘルパーのアルバイトをした後、職員となる。現在2歳と5歳の子を育てながら、自宅に近い自立生活センターいこらへ今年4月から、アルバイトを始める。

メッセージ

子育てといこらへの活動を両立できるよう、ペースを調整しながら、働いていきたいです！！

名前 なまえ 大谷 健一郎 おおたに けんいちろう

年齢 ねんれい 28歳 (2014年9月現在) さい

役職 やくしやく 相談支援補助員 そうだんしえんほじょいん

趣味 しゅみ 映画鑑賞 カラオケ えいがかんしょう

特技 とくぎ カラオケ 逆立ち 少林寺拳法 さかだ しょうりんじけんぽう

障害 しょうがい 視覚障害 しかくしょうがい



プロフィール

早くに生まれたため、582グラムの超低出生体重で生まれ、未熟児網膜症になり左目を失明し自力で呼吸ができなくて保育器の中で呼吸をする。自分で血液が作れず、頭部から採取し髪の毛が抜け、父親と親戚に血液を分けしてもらい生きることができた。長くは生きられないが、寝たきりになると医師から通告される。親の愛情をいっぱい注がれ、健康に育ってくればそれでいいとの事で「健一郎」と名付けられる。2歳には歩けるようになり保育所に通い始める。小、中と普通学校に通う。高校3年生の時に老人ホームに実習に行かせてもらい、とてもやりがいのある仕事だと思い、進路希望で就職したかったが、親の希望で介護の専門学校に行くことになり、受験勉強に励む。家庭教師をつけてもらい5試験中4試験落ちてしまい、最後の試験で何とか合格することができた。佐野支援学校始まって以来の専門学校合格者である。

専門学校では、2年生での、実習へ1ヶ月行かせてもらった時に自分も頑張れるという思いがあったので、実習終わってから面接を受けてデイケアセンターの就職が決まった。デイケアセンターで六年務めて、障害者の介助にも興味があった。母親の紹介で、泉州地域で障害者の自立を目指している東谷さんとピアスクールで出会う。設立前に介助に関わらせてもらう。2012年の6月に大阪市内にある、自立生活夢宙センターで2年デイサービスと掛け持ちして修行をさせていただいた。2014年5月から自立生活センターいこらの相談支援補助員スタッフとして修行から戻ってくる。

メッセージ

ヘルパーと違って難しいけれど、相談支援補助員として常に東谷さんに信頼される存在でいたいと思います。2、3年後には泉佐野で事業所ができるように頑張っていきます。